

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社七日町福祉サービス		
事業所名	介護付有料老人ホームときめき七日町		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護（介護予防）	定員数	40名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]	無線 LAN 一式 Wi-Fi	
	[導入台数]	令和5年2月14日 20台	
	[製品名]	みてるちゃん2カメラ	
	[導入台数]	令和5年3月9日 4台	
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]	カメラ用 10.1 タブレット型 PC	
	[導入台数]	令和5年3月9日 4台	
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]	バイタルビーツ	
	[導入台数]	令和5年3月9日 4台	
事業完了日（導入日）	令和5年3月9日 <input checked="" type="radio"/>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入	リース（契約期間	年 月～ 年 月）
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	・カメラ 居室内で転倒リスクがある入居者居室に設置し、訪室できなくてもタブレットで観察（一人勤務時など）できるようにした。  ・バイタルビーツ 心臓に疾患のある方や失禁しやすい方などのベッドに設置しデータを集積、定期的にデータ分析をおこなう。		

<p>導入効果</p> <p>※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ</li> </ul> <p>職員は机上でも様子を窺えることが可能（会話も可能）なので、訪室する時間を短縮できる。</p> <p>行動歴を確認することで事故の予知がある程度でき、安全な動線を確認し転倒防止に役立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイタルビーツ</li> </ul> <p>データ分析で睡眠の浅い深いが把握できる。声掛けするタイミングが計れることでトイレ誘導がしやすく失禁後片付けの減少が期待される。</p> <p>失禁する前にトイレ介助ができるので不快感を生じない。</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>カメラ・バイタルビーツは台数に限りがある。必要者に対し移動した場合に、撤去された側のデータ取得が継続できなくなるのが残念。次年度以降にも導入計画が必要となるだろうが金銭面で不安がある。</p> <p>バイタルビーツは離床センサーマットではないことに注意すること。</p>

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年7月4日	導入及び機種選定計画の説明	社長他 10名
令和4年7月11日 ～ 8月26日	機種選定（意見聴取）と決定	管理者他 6名
令和4年9月5日 ～ 9月17日	活用方法、使用職員との確認 効果検証担当者を介護リーダーとする	管理者他 6名
	デモ機借り入れは品薄により困難	
令和5年2月14日	無線 LAN 一式設置	業者
令和5年3月9日	みてるちゃん2カメラ納品 タブレット納品 バイタルビーツ納品	業者
令和5年3月10日 ～ 3月13日	機器使用方法研修会	相談員他 介護職員4名

令和5年3月13日	使用開始、検証	介職職員
令和5年3月27日	支払い	

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ寒河江		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	46名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(5台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(2台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後この課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決定。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	22名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月6日	機器搬入、取扱い説明	4名
令和5年3月13日	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム中桜田		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(1台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日～	交付決定。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	12名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月6日	機器搬入、取扱い説明	3名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ吉原		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(4台)、眠り SCAN eye(1台)、PC (1台) スマホ (2台)、施設内ネットワークの構築 (一式)		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月3日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		



## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。 「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	21名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月3日	機器搬入、取扱い説明	3名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム西田		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCAN eye(1台)、PC (1台) スマホ (1台)、施設内ネットワークの構築 (一式)		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月3日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。 「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決定。発注。	
令和4年1月30日	スタッフへアンケート調査	12名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月3日	機器搬入、取扱い説明	5名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 天童福祉厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム明幸園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[介護ロボット製品名] 眠りスキャン (パラマウントベッド株式会社) 導入台数：20台 [通信環境整備製品名] Wi-Fi 工事 (アクセスポイント増設工事) デジタルインカム (ティーピーアイ) 導入台数：10機		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月27日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	眠りスキャンは、各ユニット (10ユニット) に2台ずつ設置。対象者は、夜間浅眠の方、睡眠状況を把握したい方、看取り期対応中の方を中心にピックアップし、睡眠データの集約を進めている。 デジタルインカムは、介護職員、看護職員等その他関連職種が常時装着している。職種間の情報共有の円滑化、申し送りの簡素化などの業務効率化に役立っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	眠りスキャン導入により睡眠状況を可視化し、安眠を妨げない見守りと、睡眠状況に合わせた訪室など、個別対応の実践に効果を発揮している。 デジタルインカムの導入により迅速な情報共有が可能となった。特に、少人数体制となる夜勤帯勤務の職員の連絡手段として有効に機能し、業務負担の軽減に大きく寄与している。また、これまで対面式で行っていた夕礼もインカムを活用して非対面式へ移行し、業務の簡素化と効率化が図られている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	介護ロボット等の機器操作の習熟を図り、介護従事者の負担解消、離職者の減少、ケアの品質維持、この3点の導入目的が達成できるよう適切に運用する。 次年度は、日常業務への効果的な取り込み、睡眠データの有効活用、看取り対応時の職員や家族の不安軽減、これらを重点目標にする。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人遊佐厚生会		
事業所名	特別養護老人ホームゆうすいユニット型		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマートナースコール あんしんの絆（ユニティーネットワーク） [導入台数] 一式		
事業完了日（導入日）	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	完成検査終了までは、これまで使用していたナースコールを使用しながら、新しいナースコールの機器に慣れるように各居室の様子をカメラに映し出していた。2日間に分けてユニティーネットワークの業者の方からレクチャーを受ける。職員から戸惑いはそれ程聞かれず前向きな雰囲気が見られた。使用してから数日は電波が安定しない状況があり、アクセスポイントの設定に微調整を要した。使用から1週間程度経過した頃には問題なく毎日使用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	ユニット介護職員にアンケートを実施に効果について検証した。 職員の立場から良い点 ・事故やひやりを未然に防ぐことが出来、原因の究明にも役立つ ・体調の変化や異変に気付き早期に対応できる。安眠や安静を妨げることがない 職員の立場から悪い点 ・操作に慣れず機器を壊すのではないか心配 ・電波状態が不安定な時があったり、他のグループの様子が分からない。 入所者の立場から良い点 ・見守ってもらえている安心感や気づいてもらえる安心がある 入所者の立場から悪い点 ・プライバシーへの配慮がストレスに発展するのではないか心配		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 ・機器の使用について故障しない工夫と録画面像を閲覧する際のルール作り 次年度計画 ・事故発生率の推移と録画面像の活用状況		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和3年10月21日	ナースコール更新に係る選定委員を招集し第1回会議を開催。これまでの経緯や近隣施設の状況等を確認し導入に向けてスケジュールを確認	施設長他4名
令和3年10月21日 令和3年11月8日	ナースコール業者よりプレゼンテーション1社 ナースコール業者よりプレゼンテーション2社	業者 3名 職員 5名
令和3年11月16日	第2回会議。3社のプレゼンを聴き、機種選定の話し合いを行う。無線LANは停電時に使用できなくなることから有線の機種を選定。	職員 5名
令和3年12月10日	先進地施設訪問（2施設）。事前質問6項目について確認する。	職員 5名
令和3年12月23日	第3回会議。先進地施設訪問の結果を報告。機種を決定する。	職員 5名
令和4年4月1日 ～令和4年4月30日	施設内における管理責任者を施設長とし、設置ルール。利用者より同意書案を作成。	職員 6名
令和4年8月10日	すでにWi-Fi環境が一部整備されており、その際の設置業者とナースコール取扱い業者、施設担当者との間で打ち合わせを行う。参考見積りを受けとる。	業者側 3名 施設側 2名
令和4年9月2日 令和4年9月16日	業者3社にナースコール設備工事見積依頼提出 理事長を交え、見積合わせを行い最低価格業者を決定し通知を郵送。	
令和4年9月28日	法人の第3回理事会に議案として提出。 承認を受ける。	理事 7名 監事 2名
令和4年10月1日 ～令和4年10月31日	家族へ導入についての説明文書を配布。個別計画を策定し同意書をいただく、	職員 6名
令和4年12月21日	山形県より補助金の交付決定通知をいただく。	
令和5年1月20日	工事業者との契約取り交わし。	
令和5年1月21日 ～令和5年1月27日	配線工事。	
令和5年2月15日 ～令和5年3月2日	カメラ取り付け等、その他の工事。	
令和5年2月27日 ～令和5年2月28日	カメラ付きナースコールについて、メーカー担当者より説明会を行い機能の習熟。出席できない職員は随時伝達で周知。	職員 3名 職員 9名
令和5年3月3日	業者より完成通知書、引渡書を頂く	
令和5年3月6日	完成検査実施。	業者 4名 職員 2名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人遊佐厚生会		
事業所名	ショートスティゆうすいユニット型		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	5名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマートナースコール あんしんの絆（ユニティーネットワーク） [導入台数] 一式		
事業完了日（導入日）	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	完成検査終了までは、これまで使用していたナースコールを使用しながら、新しいナースコールの機器に慣れるように各居室の様子をカメラに映し出していた。2日間に分けてユニティーネットワークの業者の方からレクチャーを受ける。職員から戸惑いはそれ程聞かれず前向きな雰囲気が見られた。使用してから数日は電波が安定しない状況があり、アクセスポイントの設定に微調整を要した。使用から1週間程度経過した頃には問題なく毎日使用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	ユニット介護職員にアンケートを実施に効果について検証した。 職員の立場から良い点 ・画面に氏名がでるので対応しやすい ・居室の様子や行動が把握できるので、安眠や安静を妨げることがない 職員の立場から悪い点 ・操作に慣れず機器を壊すのではないか心配 ・コールボタンを押してもランプがつかないので、何回も押ししてしまう傾向がある 入所者の立場から良い点 ・反応が早くなったので、訪室が早くなった。 入所者の立場から悪い点 ・利用者への説明が不十分		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 ・機器の使用について故障しない工夫と録画面像を閲覧する際のルール作り 次年度計画 ・事故発生率の推移と録画面像の活用状況		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2022年8月2日	介護ロボット機器について販売業者からのヒアリング、説明を受け、対象機器（パラマウント眠りスキャン）を選定 併せて、施設内の通信環境を確認し Wi-Fi 工事の必要性を確認する。インカム機器についても選定	施設長ほか2名
2023年1月18日	無線 LAN 工事(アクセスポイント増設)を、東北電化工業株式会社に発注	
2023年2月20日	無線 LAN 工事(アクセスポイント増設)打ち合わせ	施設長ほか1名
2023年2月21日 ～2023年2月28日	無線 LAN 配線工事の実施	
2023年3月1日	眠りスキャン及びデジタルインカムを、岡崎医療株式会社に発注	
2023年3月14日	眠りスキャン導入に伴う通信状況確認、接続 IP アドレスの確認、サーバー設置の確認 等	施設長ほか3名
2023年3月27日	眠りスキャン、インカム機器等設置 ソフトインストール作業・サーバー設置作業・通信確認。 取扱い説明を受け、運用を開始する	施設長ほか4名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。



## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和3年10月21日	ナースコール更新に係る選定委員を招集し第1回会議を開催。これまでの経緯や近隣施設の状況等を確認し導入に向けてスケジュールを確認	施設長他4名
令和3年10月21日 令和3年11月8日	ナースコール業者よりプレゼンテーション1社 ナースコール業者よりプレゼンテーション2社	業者 3名 職員 5名
令和3年11月16日	第2回会議。3社のプレゼンを聴き、機種選定の話し合いを行う。無線LANは停電時に使用できなくなることから有線の機種を選定。	職員 5名
令和3年12月10日	先進地施設訪問（2施設）。事前質問6項目について確認する。	職員 5名
令和3年12月23日	第3回会議。先進地施設訪問の結果を報告。機種を決定する。	職員 5名
令和4年4月1日 ～令和4年4月30日	施設内における管理責任者を施設長とし、設置ルール。利用者より同意書案を作成。	職員 6名
令和4年8月10日	すでにWi-Fi環境が一部整備されており、その際の設置業者とナースコール取扱い業者、施設担当者との間で打ち合わせを行う。参考見積りを受けとる。	業者側 3名 施設側 2名
令和4年9月2日 令和4年9月16日	業者3社にナースコール設備工事見積依頼提出 理事長を交え、見積合わせを行い最低価格業者を決定し通知を郵送。	
令和4年9月28日	法人の第3回理事会に議案として提出。承認を受ける。	理事 7名 監事 2名
令和4年10月1日 ～令和4年10月31日	家族へ導入についての説明文書を配布。個別計画を策定し同意書をいただく、	職員 6名
令和4年12月21日	山形県より補助金の交付決定通知をいただく。	
令和5年1月20日	工事業者との契約取り交わし。	
令和5年1月21日 ～令和5年1月27日	配線工事。	
令和5年2月15日 ～令和5年3月2日	カメラ取り付け等、その他の工事。	
令和5年2月27日 ～令和5年2月28日	カメラ付きナースコールについて、メーカー担当者より説明会を行い機能の習熟。出席できない職員は随時伝達で周知。	職員 3名 職員 9名
令和5年3月3日	業者より完成通知書、引渡書を頂く	
令和5年3月6日	完成検査実施。	業者 4名 職員 2名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 碧水会		
事業所名	特別養護老人ホームらふらんす大江		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	92
(介護ロボットの製品名) (通信環境整備の製品名) 導入時期及び台数	[製品名] ○メーカー (株) バイオシルバー製 aams. 介護本体 DO18-AAMSK 20 台 NC ケーブル CC14 BO15-BSR03NCC 20 本 分配器 WELLS タイプ BB-301WZ-2P/W6P-NC 20 台 介護用感圧センサー B018-PSS01 10 台 AXIS 製ネットワークカメラ (無線) M1065-LW 10 台 ネットワークカメラ用 SD カード AXIS 純正 10 枚 タブレット PC-T1175BAS 4 台 管理マスターサーバー L11-20NUCMS03 1 台 設定・設置費 1 式 [導入時期] 令和5年3月14日 [導入台数] 20台		
	[製品名] ○メーカー (株) バッファロー製 法人向け管理者機能搭載無線アクセスポイント WAPM-1266R 37 台 レイヤ2GigaPoE スマートスイッチ 8ポート BS-GS2008P 3 台 レイヤ2GigaPoE スマートスイッチ 16ポート BS-GS2016P 4 台 ネットワーク工事費 1 式 キットニング作業着 1 式 [導入時期] 令和5年2月27日 [導入台数] 1式		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月14日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	○利用者の急な状態変化をアラート通知され、また毎日の睡眠状態の記録を残すことも出来るため、体調・生活状況の管理を強化でき個別のケアが実現可能。 ○夜間時のアラート発生時の居室の様子を映像で確認でき、緊急性があるかどうか瞬時に確認できる。		

<p>導入効果</p> <p>※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）</p>	<p>○映像カメラ及びタブレット等を導入することにより、利用者のバイタルチェックを、映像と記録で科学的に判断することができ、効率的介護やアラート発生時の居室の様子を映像を確認でき緊急性があるか瞬時の判断をすることができた。</p> <p>○モニターで状態確認ができるため、夜間時の訪室業務の負担軽減、介護者のストレス軽減に繋がった。</p> <p>○対象者の状態を理解することにより、必要な措置・サービス提供を素早く判断でき、介護サービス提供の目的・行動が明確になり労働意欲が増した。</p> <p>○アラート発生時の居室の様子を映像で確認でき、緊急性があるかどうか瞬時に確認できて、職員の不安を解消できた。</p> <p>○頻繁に居室に訪問する必要がなくなり、感染症の拡散防止や、業務の効率化は図れた。</p> <p>○映像、記録データを保存するデジタル化により、効率的に時間を費やすことができ、日誌等の記録も一元化につながり、他の介護業務に時間かけることができた。</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤時の見守りの効率化。</li> <li>・転倒リスクの回避。</li> </ul>

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R4年6月1日 ～R4年8月23日	担当者会議及び主任会議にて業務状況の確認と問題点の洗い出しを行った。 特に夜間の見守り負担が大きく肉体的より精神的負担増。予期せぬ行動をされる方、転倒・転落リスクの高い方のヒヤリハットの対策が必要。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	機種選定・導入計画の検討を行った結果、見守り介護ロボットを導入し利用者の心拍・呼吸・体動・睡眠状態を確認できる機種とする。また、見守り介護ロボットと連動するカメラと離床センサーを併用し、転倒リスクが高い方はプライバシーを考慮しながらタブレットで利用者の状況を瞬時に把握できるようにする。また記録も残すことで検証が可能になり解決策の検討に役立てる。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	導入担当者は事務局長が行い、ターミナル期の方・体調を崩された方・転倒リスクが高い方・入所されたばかりの方をメインに使用し、バイタル状況の把握と行動把握により必要な措置・サービス提供を素早く判断する。 効果検証の各担当者は総括主任及び主任が担当し定期的な報告会をもって情報共有・課題検討を行う。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	実際に機器を使用する者の意見聴取方法は、各棟のミーティング内で行い、介護ロボットに関する報告書も検討する。	事務局長 ほか5名
R5年1月26日 ～R5年3月14日	交付決定後、Wi-Fi工事及び導入機器の発注を行う。 Wi-Fi工事が完了次第、見守り介護ロボットを導入し、ランニング（調整）を行う。	事務局長 ほか5名
R5年3月14日 ～R5年3月31日	導入後、メーカーによる研修会を数回に分けて行い関係する職員が参加できるようにして習熟する。マニュアル整備を行い、メーカーのお客様窓口のサポートも活用する。	事務局長 ほか5名
R5年3月14日 ～R5年3月31日	見守り機器で得られた状態変化の通知や睡眠状態の記録から利用者の体調・生活状況の管理を強化し個別ケアに繋げる。夜間の訪室業務の負担軽減、介護者の先進的ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境の構築を目指す。	総括主任 ほか6名
R6年4月末日 ～R8年4月末日	効果の検証を毎年行い、業務状況の確認と問題点を洗い出し、見守り介護ロボットのメリットを最大限活かすための使用計画を検討・修正する。	総括主任 ほか6名
R6年4月末日 ～R8年4月末日	効果検証に基づき業務改善の取り組みを検討する。 1年目：利用者の見守り、特に夜間時の利用者の情報把握並びに転倒・転落事故を未然に防ぐ体制作り 2年目：1年目で得られた情報を元に各職員の共通情報として各職員のスキルの標準化を図る。データを活用した見守り体制作り。 3年目：2年目迄に得られた情報を基に職員の訪室業務の負担軽減・ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境を構築する。	事務局長 ほか5名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

## 事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

## 1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(ユニット型) 【事業所番号:0670801737】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 バイタルセンサー(2台) 離床センサー(15台) ビューワPC(4台) スマートフォン(13台) ネットワークカメラ(44台) 管理サーバー接続変換機(離床センサー)(15台) Wi-Fiゲートウェイ(4台) ワイヤレスインターフェースボックス(15台) ビューワPCディスプレイ(4台) レピーター(4台) PoEスプリッタ(44個) マットセンサーコネクタプラグ(15台) HUB(48ポート/内PoE 48ポート)(1台) HUB(16ポート/内PoE 16ポート)(1台) 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日</p>		
事業完了日(導入日)	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。</li> <li>・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。</li> <li>・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。</li> </ul>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。</li> <li>・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。</li> <li>・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。</li> <li>・急変時の早期発見と危険予知ができています。</li> </ul>		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。</li> <li>・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。</li> <li>・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。</li> <li>・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。</li> <li>・夜間業務の改善。</li> <li>・WiFi 不具合の調整。</li> </ul>
-------------------------	--

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
<p>令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日</p>	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R 元.10.15～3 ヶ月</p>	<p>園長 園長代理 職員 5 名</p>
<p>令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日</p>	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施 第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。</p>	<p>園長 園長代理 職員 6 名</p>

	アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できることが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	施設長 施設次長 職員4名 業者
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～ 12月31日	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	

令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置 工事入札	理事 監事 常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日～ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。



事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(従来型) 【事業所番号:0673200267】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	36名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 バイタルセンサー(1台) 離床センサー(15台) ビューワPC(2台) スマートフォン(10台) ネットワークカメラ(36台) 管理サーバー Wi-Fiゲートウェイ(2台) 接続変換機(離床センサー)(15台) ワイヤレスインターフェースボックス(15台) ビューワPC ディスプレイ(2台) レピーター(2台) PoEスプリッタ(37個) マットセンサーコネクタプラグ(15台) HUB(24ポート/内PoE 24ポート)(1台) HUB(16ポート/内PoE 16ポート)(1台) 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日		
事業完了日(導入日)	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。</li> <li>・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。</li> <li>・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。</li> </ul>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。</li> <li>・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。</li> <li>・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。</li> <li>・急変時の早期発見と危険予知ができています。</li> </ul>		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。</li> <li>・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。</li> <li>・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。</li> <li>・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。</li> <li>・夜間業務の改善。</li> <li>・WiFi 不具合の調整。</li> </ul>
-------------------------	--

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
<p>令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日</p>	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R 元.10.15～3 ヶ月</p>	<p>園長 園長代理 職員 5 名</p>
<p>令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日</p>	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施 第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できる</p>	<p>園長 園長代理 職員 6 名</p>

	ことが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関する事を直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	<p>施設長 施設次長 職員4名 業者</p>
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～12月31日	<p>補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。</p> <p>居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。</p>	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	
令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置工事入札	理事 監事

		常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日 ~ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

## 事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

## 1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0673200119】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	16名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 離床センサー（10台）ネットワークカメラ（16台）管理サーバ スマートフォン（6台）ビューワPC（1台）Wi-Fiゲートウェイ（1 台）接続変換機（離床センサー）（10台）HUB(5ポート)（1台） ワイヤレスインターフェースボックス（10台）ビューワPCディス プレイ（1台）レピーター（1台）PoE スプリッタ（16個）マッ トセンサーコネクタプラグ（10台） HUB(16ポート/内 PoE 16ポート)（1台） 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日</p>		
事業完了日（導入日）	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。</li> <li>・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。</li> <li>・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。</li> </ul>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。</li> <li>・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。</li> <li>・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。</li> <li>・急変時の早期発見と危険予知ができています。</li> </ul>		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。</li> <li>・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。</li> <li>・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。</li> <li>・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。</li> <li>・夜間業務の改善。</li> <li>・WiFi 不具合の調整。</li> </ul>
-------------------------	--

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
<p>令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日</p>	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R 元.10.15～3 ヶ月</p>	<p>園長 園長代理 職員 5 名</p>
<p>令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日</p>	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施 第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できる</p>	<p>園長 園長代理 職員 6 名</p>

	ことが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関する事を直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	<p>施設長 施設次長 職員4名 業者</p>
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～12月31日	<p>補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。</p> <p>居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。</p>	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	
令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置工事入札	理事 監事

		常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日 ~ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。



## 事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

## 1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム【事業所番号：0673200259】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] デジタルインカム [導入台数] 20台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月8日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境として、構造上、①個室（1名）の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は、100%。電波状況やIPアドレス重複不具合等の影響により、本格運用は3月1日となるが、上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、職員間のスムーズな情報共有を行い、職員の移動負担を減らし、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	発売元からの取扱い説明を受けた介護係長が、本格運用前の使用テストを実施した感想として、デジタルインカムが見守りロボット「眠りSCAN」と連動しているため、介護中であっても、タブレットを持ち運ばなくても、ご利用者の離床の検知情報がリアルタイムでわかるため、他職員を探す行為が必要なく、迅速に現場への駆け付け対応あるいはインカムで指示が出せるので、対応までの時間の大幅な短縮に寄与している。また、インカムにより、一斉に職員に対し、申し送りが可能となり、事故発生時の看護師の現場駆け付け要請もスムーズになると考えられ、デジタルインカム20台の導入は妥当であった。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	デジタルインカム本格導入後、介護職員へのアンケートを実施する。職員間の情報共有が図られることによる職員の移動負担軽減効果、事故リスク軽減効果、急な容態変化等への迅速な対応について、職員の感想をまとめる。次年度も継続する。
------------------	--

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年8月1日～ 令和4年8月20日	施設長、介護係長、介護リーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和5年2月8日	ルーター設定及び機器導入。発売元からの取扱い説明を介護係長が受け、後日、職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和5年2月9日 ～令和5年2月28日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。機器の不具合もあったため、令和5年3月1日より、運用開始。	施設長ほか

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

## 事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

## 1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらの里【事業所番号：0670801380】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] デジタルインカム [導入台数] 11台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月1日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、3ユニットが渡り廊下でつながっているものの、ユニット別に独立した構造となっており、①各個室の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は、100%。IPアドレス重複不具合等の影響により、本格運用は2月27日となったが、上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、職員間のスムーズな情報共有を行い、職員の移動負担を減らし、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	発売元からの取扱い説明を受けた管理者が、本格運用前の使用テストを実施した感想として、デジタルインカムが見守りロボット「眠りSCAN」と連動しているため、介護中であっても、タブレットを持ち運ばなくても、ご利用者の離床の検知情報がリアルタイムでわかるため、他職員を探す行為が必要なく、迅速に現場への駆け付け対応あるいはインカムで指示が出せるので、対応までの時間の大幅な短縮に寄与している。また、インカムにより、一斉に職員に対し、事務連絡や申し送り、及び医務室の看護師とのスムーズな連携も可能となり、デジタルインカム11台の導入は妥当であった。		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>デジタルインカム本格導入後、介護職員へのアンケートを実施する。職員間の情報共有が図られることによる職員の移動負担軽減効果、事故リスク軽減効果、急な容態変化等への迅速な対応について、職員の感想をまとめる。次年度も継続する。</p>
-------------------------	---

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年8月1日～ 令和4年8月20日	管理者、介護リーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	管理者ほか
令和5年2月1日	ルーター設定及び機器導入。発売元からの取扱い説明を管理者が受け、後日、職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 管理者ほか
令和5年2月9日 ～令和5年2月26日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。機器の不具合もあったため、令和5年2月27日より、運用開始。	管理者ほか

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	医療法人健友会		
事業所名	介護老人保健施設ひだまり		
介護サービスの種類	介護老人保健施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]クリアトーク  [導入台数] 20台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月14日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	看護・介護業務の中で職員同士の情報の連絡ツールとして、毎日使用する。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	フロアが広く、業務上の動線が長いことや一目で見渡せる建築構造ではないため、全スタッフがインカムを装着することによって必要な職員を探す手間が減り、職員同士の情報の連絡が円滑に行き、業務効率が上がることが予想される。 特に夜勤業務においてはインカムなどの導入は、スタッフからも求められており、導入後は働きやすい環境になる事が期待される。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	通話グループを4グループ設定した。どのグループを使用することが業務の効率を上げるかなど、使用上のルールを作ることが課題。 次年度は「施設内での無駄のないスタッフの移動を目指す」について職員アンケートを実施する。		

## 2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
3年12月16日 ～ 年 月 日	機種選定、実際の使用している施設での状況視察 ・インカムの展示会に参加。 ・インカムを導入している県内の福祉施設を見学。	常務・部長2名
4年1月28日 ～ 年 月 日	インカム取り扱い業者より、インカムの具体的な効果などをプレゼンしてもらう。	次長、現場職員5名
4年3月17日 ～ 年 月 日	法人の管理部会議においてインカムの導入について予算化の検討を行う。	
4年5月19日 ～4年12月31日	導入計画の検討 現場スタッフと情報交換により業務上の問題点などを洗い出し、導入台数などを検討する。	介護主任4名
5年1月16日 ～ 5年2月14日	設置業者の現場調査、デジタルトランシーバー等の機器設置、工事設定・試験調整、取扱説明	看護介護職員5名
5年2月15日 ～2月28日	現場スタッフへの実機の取り扱いの説明、スタッフの質問に対応。保管・充電場所などのスペース確保。	介護主任4名
5年12月 末日 ～ 年 月 日	導入1年目の効果検証:「施設内での無駄のないスタッフの移動を目指す」について職員アンケートを実施する。	看護・介護職員約50名
6年12月 末日 ～ 年 月 日	導入2年目の効果検証:「集合しての申し送りの時間を短縮し、直接的なケアの時間が増える。」について職員アンケートを実施する。	看護・介護職員約50名
7年12月 末日 ～ 年 月 日	導入3年目の効果検証:「見守りのないところで起こる事故を減らす。」について職員アンケートを実施する。	看護・介護職員約50名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。